

RIシリーズ

リアルタイム・オペレーティング・システム

ユーザーズマニュアル メッセージ編

対象ツール

RI78V4

RI850MP

RI600V4

RI600PX

RI850V4

本資料に記載の全ての情報は発行時点のものであり、ルネサス エレクトロニクスは、予告なしに、本資料に記載した製品または仕様を変更することがあります。ルネサス エレクトロニクスのホームページなどにより公開される最新情報をご確認ください。

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器・システムの設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因して、お客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
3. 本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害に関し、当社は、何らの責任を負うものではありません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。かかる改造、改変、複製等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、
 家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、
 防災・防犯装置、各種安全装置等
当社製品は、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（原子力制御システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、使用することはできません。たとえ、意図しない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。なお、ご不明点がある場合は、当社営業にお問い合わせください。
6. 当社製品をご使用の際は、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他の保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
8. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
9. 本資料に記載されている当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。また、当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途に使用しないでください。当社製品または技術を輸出する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。
10. お客様の転売等により、本ご注意書き記載の諸条件に抵触して当社製品が使用され、その使用から損害が生じた場合、当社は何らの責任も負わず、お客様にてご負担して頂きますのでご了承ください。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社がその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

このマニュアルの使い方

対象者 このマニュアルは、RH850 ファミリ、RX ファミリ、V850 ファミリ、RL78 ファミリ、78K0R マイクロコントローラの各製品の応用システムを設計、開発するユーザを対象としています。

目的 このマニュアルは、次の構成に示すルネサス エレクトロニクス製リアルタイム OS「RI シリーズ」、RI78V4 V2.xx.xx, RI850V4 V2.xx.xx, RI600V4, RI600PX, RI850V4 V1.xx.xx, RI850MP, RI78V4 V1.xx.xx の機能をユーザに理解していただくことを目的としています。

構成 このマニュアルは、大きく分けて次の内容で構成しています。

[第1章 概 説](#)

[第2章 出力形式](#)

[第3章 メッセージ](#)

読み方 このマニュアルを読むにあたっては、電気、論理回路、マイクロコンピュータ、C 言語、アセンブラの一般知識が必要となります。

RH850 ファミリ、RX ファミリ、V850 ファミリ、RL78 ファミリ、78K0R マイクロコントローラ機能を
知りたいとき

→ 各製品のユーザズ・マニュアルを参照してください。

凡 例	データ表記の重み	:	左が上位桁、右が下位桁
	注	:	本文中につけた注の説明
	注意	:	気をつけて読んでいただきたい内容
	備考	:	本文中の補足説明
	数の表記	:	10 進数 ... XXXX 16 進数 ... 0xXXXX
	2 のべき数を示す接頭語 (アドレス空間、メモリ容量) :		
			K (キロ) $2^{10} = 1024$
			M (メガ) $2^{20} = 1024^2$

関連資料 関連資料は暫定版の場合がありますが、この資料では「暫定」の表示をしておりません。あらかじめご了承ください。

資料名		資料番号	
		和文	英文
RI シリーズ	起動編	R20UT0751J	R20UT0751E
	メッセージ編	このマニュアル	R20UT0756E
RI850V4 V2.xx.xx	コーディング編	R20UT2889J	R20UT2889E
	デバッグ編	R20UT2890J	R20UT2890E
	解析編	R20UT2891J	R20UT2891E
RI600V4	コーディング編	R20UT0711J	R20UT0711E
	デバッグ編	R20UT0775J	R20UT0775E
	解析編	R20UT2185J	R20UT2185E
RI600PX	コーディング編	R20UT0964J	R20UT0964E
	デバッグ編	R20UT0950J	R20UT0950E
RI78V4 V2.xx.xx	コーディング編	R20UT3375J	R20UT3375E
	デバッグ編	R20UT3374J	R20UT3374E
	解析編	R20UT3373J	R20UT3373E
RI850V4	コーディング編	R20UT0515J	R20UT0515E
	デバッグ編	R20UT0754J	R20UT0754E
	解析編	R20UT0517J	R20UT0517E
RI850MP	コーディング編	R20UT0519J	R20UT0519E
	デバッグ編	R20UT0755J	R20UT0755E
RI78V4 V1.xx.xx	コーディング編	R20UT0511J	R20UT0511E
	デバッグ編	R20UT0753J	R20UT0753E
	解析編	R20UT0513J	R20UT0513E

注意 上記関連資料は、予告なしに内容を変更することがあります。設計などには、必ず最新の資料を使用してください。

目 次

第1章 概 説 … 6

第2章 出力形式 … 7

2.1 RI600V4, RI600PX 用コンフィギュレータ使用時以外 … 7

2.2 RI600V4, RI600PX 用コンフィギュレータ使用時 … 8

第3章 メッセージ … 9

3.1 内部エラー … 10

3.2 フェイタル・エラー … 11

3.3 アボート・エラー … 30

3.4 インフォメーション … 35

3.5 ワーニング … 36

第1章 概 説

本マニュアルでは、リアルタイム OS パッケージに内包されているツールが出力するメッセージについて説明します。メッセージは、出力パネル、またはメッセージダイアログなどに出力されます。

備考 出力パネル、またはメッセージダイアログについては、「CS+ 統合開発環境 ユーザーズマニュアル メッセージ編」を参照してください。

第2章 出力形式

この章では、メッセージの出力形式について説明します。

2.1 RI600V4, RI600PX 用コンフィギュレータ使用時以外

RI600V4, RI600PX 用コンフィギュレータ使用時以外における出力形式は、次のとおりです。

(1) ファイル名と行番号情報を含む場合

```
ファイル名 (行番号) : メッセージ種別 コンポーネント番号 メッセージ番号 : メッセージ
```

(2) ファイル名と行番号情報を含まない場合

```
メッセージ種別 コンポーネント番号 メッセージ番号 : メッセージ
```

備考 1. 下記内容が連続した文字列として出力されます。

メッセージ種別 : 1文字の英字 (C, E, F, M, W)

コンポーネント番号 : 11

メッセージ番号 : 5桁の数値

2. メッセージ種別, コンポーネント番号, メッセージ番号についての詳細は、「CS+ 統合開発環境 ユーザーズマニュアル メッセージ編」を参照してください。

2.2 RI600V4, RI600PX 用コンフィギュレータ使用時

RI600V4, RI600PX 用コンフィギュレータ使用時における出力形式は、次のとおりです。

(1) ファイル名と行番号を含む場合

```
ファイル名 : (行番号) : メッセージ番号 (メッセージ種別) メッセージ
```

(2) 行番号を含まない場合

```
ファイル名 : (0) : メッセージ番号 (メッセージ種別) メッセージ
```

(3) ファイル名と行番号を含まない場合

```
----- : (0) : メッセージ番号 (メッセージ種別) メッセージ
```

備考 1. 下記内容が文字列として出力されます。

メッセージ番号 : 0 + 4 桁の数値

メッセージ種別 : 1 文字の英字

2. メッセージ種別、メッセージ番号についての詳細は、「CS+ 統合開発環境 ユーザーズマニュアル メッセージ編」を参照してください。

第3章 メッセージ

この章では、リアルタイム OS パッケージに内包されているツールが出力するメッセージについて説明します。

3.1 内部エラー

表 3—1 内部エラー

C1110030	[メッセージ]	処理はサポートされていません。
	[説明]	内部エラーです。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。

3.2 フェイタル・エラー

表 3—2 フェイタル・エラー

E1110001	[メッセージ]	DLL をロードできませんでした。
	[説明]	正常にインストールできていない、または必要なファイルが削除されました。
	[対処方法]	再度リアルタイム OS パッケージをインストールしてください。
E1110010	[メッセージ]	デバッグと接続できませんでした。
	[説明]	何らかの原因でデバッグとの通信ができません。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。
E1110020	[メッセージ]	RTOS がロードされていません。
	[説明]	デバッグにターゲット・プログラムがロードされていない、またはターゲット・プログラムにリアルタイム OS が組み込まれていません。
	[対処方法]	デバッグにターゲット・プログラムをロードしてください。ターゲット・プログラムにリアルタイム OS が組み込まれていない場合は組み込んでください。
E1110031	[メッセージ]	RTOS 情報が破壊されている可能性があります。
	[説明]	リアルタイム OS 情報が正常ではありません (ターゲット・プログラムの暴走など)。
	[対処方法]	ターゲット・プログラムがリアルタイム OS 情報を破壊していないか確認してください。
E1110032	[メッセージ]	キュー情報が破壊されている可能性があります。
	[説明]	リアルタイム OS 情報が正常ではありません (ターゲット・プログラムの暴走など)。
	[対処方法]	ターゲット・プログラムがリアルタイム OS 情報を破壊していないか確認してください。
E1120040	[メッセージ]	プロジェクトで使用しているリアルタイム OS がインストールされていません。
	[説明]	既存のプロジェクトで使用していたリアルタイム OS がアンインストールされたなど、プロジェクトで使用していたリアルタイム OS が見つかりません。
	[対処方法]	リアルタイム OS が正しくインストールされているかを確認してください。
E1120041	[メッセージ]	RI850MP で対応しているレジスタ・モードは 32 レジスタ・モードのみです。
	[説明]	RI850MP を使用したプロジェクトのレジスタ・モードを 32 レジスタ・モード以外に変更すると表示されます。
	[対処方法]	レジスタ・モードを 32 レジスタ・モードに設定してください。
E1120042	[メッセージ]	リアルタイム OS が対応しているレジスタ・モードと異なります。
	[説明]	プロパティパネル - [共通オプション] タブ - [レジスタ・モード] - [レジスタ・モード] において、リアルタイム OS が非対応のレジスタ・モードが選択されると表示されません。
E1120050	[メッセージ]	セーブすることができません。
	[説明]	内部情報が壊れていて、セーブ情報を取得できません。
	[対処方法]	プロジェクトの作成し直し、またはプラグインを再インストールしてください。
E1120060	[メッセージ]	リアルタイム OS が r2 レジスタを使用します。
	[説明]	プロパティパネル - [共通オプション] タブ - [レジスタ・モード] - [r2 レジスタを予約する] において、[いいえ] が選択されると表示されます。

E1132000	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Illegal keyword or syntax error.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 キーワードが不正か、記述に誤りがあります。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 システム・コンフィギュレーション・ファイル、またはコマンド・ファイルの記述形式を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 キーワードが不正または記述に誤りがあります。
	[対処方法]	【RI850MP】 システム・コンフィギュレーション・ファイル、またはコマンド・ファイルの記述形式を確認してください。
E1132001	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 Keyword (xxx) is too longer than 24 characters.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 キーワード xxx が最大文字数 24 文字を越えています。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】 24 文字以下のキーワード（オブジェクト名）を指定してください。
	[メッセージ]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Keyword (xxx) is too longer than 255 characters.
	[説明]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 キーワード xxx が最大文字数 255 文字を越えています。
	[対処方法]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 255 文字以下のキーワード（オブジェクト名）を指定してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 キーワード (xxx) の指定文字列が (yyy) 文字を越えています。
[対処方法]	【RI850MP】 yyy 文字以下のキーワード (xxx) を指定してください。	
E1132002	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 Integer overflow.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 CF78V4 内で扱えない大きな数値が指定されました。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 数値は 32 ビット・データ以内で指定してください。
	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Integer overflow (xxx).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 CF850V4 内で扱えない大きな数値が指定されました。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 数値は 32 ビット・データ (xxx) 以内で指定してください。

E1132003	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Keyword (xxx) is not defined.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 キーワード xxx が定義されていません。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 キーワードの定義を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 キーワード (xxx) が定義されていません。
	[対処方法]	【RI850MP】 キーワードの定義を確認してください。
E1132004	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Memory area (xxx) cannot be specified for system stack.
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定できるメモリ領域を指定してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 メモリ領域 (xxx) はシステム・スタック領域として指定できません。
	[対処方法]	【RI850MP】 システム・スタック情報 SYS_STK の記述形式を見直してください。
E1132010	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 One line is too long.
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 1 行が長すぎます。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 各項目の文字数を見直し、1 行を 16384 文字以内になしてください。
E1133005	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Keyword (xxx) is already defined.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 キーワード xxx が多重定義されています。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 一度だけ定義するようにしてください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 キーワード (xxx) はすでに定義されています。
	[対処方法]	【RI850MP】 一度だけ定義するようにしてください。
E1133006	[メッセージ]	【RI850MP】 ドメイン内にキーワード (xxx) は定義できません。
E1133007	[メッセージ]	【RI850MP】 ドメイン外にキーワード (xxx) は定義できません。
E1133008	[メッセージ]	【RI850MP】 ドメイン配置情報が定義したドメインより多く定義されています。
E1133009	[メッセージ]	【RI850MP】 ドメイン配置情報に定義していないドメインがあります。

E1133010	[メッセージ]	【RI850MP】 ドメイン配置情報の PE 番号が定義されていません。
E1133017	[メッセージ]	【RI850MP】 どのドメインにもタスクが定義されていません。
E1133018	[メッセージ]	【RI850MP】 タスクが定義されていません。
E1133019	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Too many Keyword (xxx) is defined.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 キーワード xxx の定義数が多すぎます。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 キーワードの定義数が最大数を越えないように調整してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 キーワード (xxx) の定義数が多すぎます。
	[対処方法]	【RI850MP】 キーワードの定義数が最大数を越えないように調整してください。
E1133020	[メッセージ]	【RI850MP】 キーワード (xxx) の定義数が足りません。
E1133030	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 Task (xxx) that is specified in task exception routine is undefined.
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 タスク例外処理ルーチンで指定したタスク (xxx) が存在しません。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 指定したタスクが存在するか確認してください。
E1133031	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 Task exception routine for the one task is multiple defined (xxx).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 タスク例外処理ルーチン (xxx) が同一のタスクに対して複数定義されています。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 該当するタスク例外処理ルーチンの定義を確認してください。
E1134000	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Illegal maximum value (xxx).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 最大値 (xxx) は不正な値です。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定した値を確認してください。

E1134001	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Illegal exception code (xxx).
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 指定した例外要因コード値を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 例外要因コード (xxx) は不正な値です。
	[対処方法]	【RI850MP】 指定した例外要因コード値を確認してください。
E1134002	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Exception code (xxx) is out of range.
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 指定した例外要因コードを確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 割り込み例外要因コード (xxx) が範囲外の値です。
	[対処方法]	【RI850MP】 指定した例外要因コードを確認してください。
E1134003	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Number of maximum handler is out of range (xxx).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 割り込みハンドラ最大数 (xxx) は範囲外の値です。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 割り込みハンドラ数を確認してください。
E1134004	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Undefined memory area (xxx).
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 メモリ領域の定義を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 メモリ領域 (xxx) は定義されていません。
	[対処方法]	【RI850MP】 メモリ領域の定義を確認してください。
E1134005	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 One of TA_HLNG or TA_ASM must be defined as attribute in xxx.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 xxxの属性としてTA_HLNG、またはTA_ASMのどちらか1つを指定してください。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 TA_HLNG/TA_ASMのどちらか一方を指定してください。
	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 One of TA_HLNG or TA_ASM must be defined as attribute in Keyword (xxx).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 キーワード (xxx) の属性としてTA_HLNG、またはTA_ASMのどちらか1つを指定してください。

E1134006	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Attribute (xxx yyy) is not defined together in Keyword (zzz).
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 xxx/yyy のどちらか一方を指定してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 キーワード (xxx) の属性として同時に指定出来ない属性が指定されました。(yyy)
	[対処方法]	【RI850MP】 xxx の属性を確認してください。
E1134007	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 One of TA_TFIFO or TA_TPRI must be defined as attribute in Keyword (CRE_MTX).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 キーワード (CRE_MTX) の属性として TA_TFIFO, または TA_TPRI のどちらか1つを指定してください。
E1134008	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 One of TA_MFIFO or TA_MPRI must be defined as attribute in xxx.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 xxx 属性として TA_MFIFO, または TA_MPRI のどちらか1つを指定してください。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 TA_MFIFO/TA_MPRI のどちらか一方を指定してください。
E1134009	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Neither TA_INHERIT nor TA_CEILING may be specified in this version.
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定を見直してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 本バージョンでは TA_INHERIT と TA_CEILING を指定できません。
	[対処方法]	【RI850MP】 指定を見直してください。
E1134011	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Total memory size (xxx) that is allocated in the memory area (yyy) exceed defined size (zzz).
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 メモリ領域 yyy の合計サイズを、最大サイズ以内になるように調整してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 メモリ・エリア (xxx) に割り当てられた合計メモリサイズ (zzz) は、定義されたサイズ (yyy) を越えています。
	[対処方法]	【RI850MP】 メモリ領域 xxx の合計サイズを、最大サイズ以内になるように調整してください。

E1134016	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Start address (xxx) is not 2 bytes alignment.
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 開始アドレスの値を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 開始アドレス (xxx) が2バイト・アラインではありません。
	[対処方法]	【RI850MP】 開始アドレスの値を確認してください。
E1134018	[メッセージ]	【RI850MP】 メモリ領域の定義 (xxx) が不正です。
E1134020	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 xxx (yyy) bigger than maximum 255 was set.
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 キーワードの値を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 xxx (yyy) に最大値 (zzz) より大きい値が指定されました。
	[対処方法]	【RI850MP】 キーワードの値を確認してください。
E1134021	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 cyctim (xxx) smaller than minimum (yyy) was set.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 cyctim (xxx) に最小値 (yyy) より小さな値が指定されました。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 周期ハンドラの起動周期の場合、1 ~ 4294967295 (0xfffffff) の範囲内の値を指定してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 xxx (yyy) に最小値 (zzz) より小さな値が指定されました。
E1134022	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Memory area size of fixed-sized memory pool (= block count (xxx) * block size (yyy)) is out of range.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 固定長メモリ・プールのメモリ領域のサイズが範囲外です。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 固定長メモリ・プールのメモリ領域のサイズ (メモリ・ブロックの総数 * ブロック・サイズの演算結果) には、4 ~ 65534 (0xffff) の範囲内となるようにメモリ・ブロックの総数とブロック・サイズを指定してください。
E1134025	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 Attribute (xxx) is not supported.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 属性に指定した xxx はサポートしていません。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 指定可能な属性を確認してください。

E1134026	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 Attribute (xxx) is not defined (yyy).
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 yyyの属性にxxxが指定されていません。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 属性を確認してxxxを指定してください。
E1134030	[メッセージ]	【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 xxx (yyy) is out of range.
	[説明]	【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 設定内容xxx（設定値yyy）が範囲外の値です。
	[対処方法]	【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 設定値を確認してください。
E1134100	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Illegal OS name (xxx).
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 指定したOS名を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 OS名 (xxx) が不正です。
	[対処方法]	【RI850MP】 指定したOS名を確認してください。
E1134101	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Illegal OS version (xxx).
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 指定したOSバージョンを確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 OSバージョン (xxx) が不正です。
	[対処方法]	【RI850MP】 指定したOSバージョンを確認してください。
E1134102	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Number of lines exceeded the maximum.
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 ファイル行数が最大値を超えました。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 ファイル行数を1000000行以下にしてください。
E1134110	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Stack check flag is illegal.
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 スタック・チェック・フラグの指定が不正です。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 スタック・チェック・フラグの指定を確認してください。

E1134131	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Illegal system stack size (xxx)
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 システム・スタック・サイズが不正です。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 システム・スタック・サイズの値を 0 ~ 65534 (0xffff) の範囲内の値に設定してください。
E1134132	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Illegal maximum task priority (xxx).
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 タスクの最大優先度の値 xxx が不正です。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 タスクの最大優先度情報 MAX_PRI の値を 1 ~ 15 の範囲内の値に設定してください。
E1134133	[メッセージ]	【RI850V4 V2.xx.xx】 Illegal maximum interrupt priority (xxx).
	[説明]	【RI850V4 V2.xx.xx】 割り込みの最大優先度の値 xxx が不正です。
	[対処方法]	【RI850V4 V2.xx.xx】 割り込みの最大優先度情報 MAX_INTPRI の値を適切な値に設定してください。
E1134134	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Exception code for system timer (xxx) is out of range.
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 システム・タイマ割り込みの例外要因コードを確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 システム・タイマ割り込みの例外要因コード (xxx) が範囲外の値です。
	[対処方法]	【RI850MP】 システム・タイマ割り込みの例外要因コードを確認してください。
E1134135	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Number of maximum interrupt factor is out of range (xxx).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 割り込み要因最大数 (xxx) が範囲外の値です。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 割り込み要因最大数を確認してください。
E1134136	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Cyclic time of system time is illegal (xxx).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 システム・タイマ周期時間 (xxx) の値が不正です。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 周期時間で設定した値を確認してください。

E1134140	[メッセージ]	【RI850V4 V2.xx.xx】 Target CPU is not support FPU.
	[説明]	【RI850V4 V2.xx.xx】 対象の CPU には FPU が搭載されていません。
	[対処方法]	【RI850V4 V2.xx.xx】 DEF_FPSR の指定を削除するか、FPU が搭載されている CPU に変更してください。
E1134302	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 Task extension information is out of range (xxx).
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 タスクの拡張情報に指定した値 xxx は範囲外の値です。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 タスクの拡張情報 ext_inf には、0x0 ~ 0xffff の範囲内の値を指定してください。
E1134303	[メッセージ]	【RI850MP】 関数アドレス (xxx) が範囲外の値です。
E1134304	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 Task stack size is out of range (xxx).
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 タスク・スタック・サイズ xxx が範囲外の値です。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 タスク・スタック・サイズの値を 0 ~ 65534 (0xffff) の範囲内の値に設定してください。
E1134401	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 Initial semaphore number (xxx) is out of range.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 セマフォの初期資源数に指定した値 xxx は範囲外の値です。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 セマフォの初期資源数の値を 0 ~ 127 の範囲内の値に設定してください。
E1134901	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 Block size (xxx) of fixed-sized memory pool is out of range.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 固定長メモリ・プールのブロック・サイズに指定した値 xxx が範囲外の値です。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 固定長メモリ・プールのブロック・サイズには、4 ~ 65534 (0xffff) の範囲内の値を指定してください。
E1134902	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 Block count (xxx) of fixed-sized memory pool is out of range.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 固定長メモリ・プールのメモリ・ブロック数 xxx は範囲外の値です。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 固定長メモリ・プールのメモリ・ブロックの総数には、1 ~ 16383 (0x3fff) の範囲内の値を指定してください。

E1135100	[メッセージ]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Interrupt source name (xxx) is not defined in the device file.
	[対処方法]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 例外コードで設定した値を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 例外要因名 (xxx) はデバイス・ファイルで定義されていません。
	[対処方法]	【RI850MP】 例外要因コードで設定した値を確認してください。
E1135500	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Illegal calculation.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 不正な演算を行いました。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定可能な値の範囲を確認してください。
E1136000	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Name (xxx) is already used in keyword (xxx).
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定したキーワードを確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 キーワード (xxx) に同じ名前 (xxx) が既に使われています。
	[対処方法]	【RI850MP】 指定したキーワードを確認してください。
E1136001	[メッセージ]	【RI850MP】 予約された例外要因コードです (xxx)。
E1136002	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Memory area (xxx) is already defined.
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 メモリ領域 (xxx) は既に定義されています。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定したメモリ領域を確認してください。
E1136009	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 Name (xxx) is already used.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 同じ名前 (xxx) が既に使われています。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 使用していないオブジェクト名を指定してください。

E1136010	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 Symbol too long (max 30). 【RI78V4 V2.xx.xx】 Symbol too long (max 4095).
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 シンボル名、またはオブジェクト名が最大文字数 30 文字を越えています。 【RI78V4 V2.xx.xx】 シンボル名、またはオブジェクト名が最大文字数 4095 文字を越えています。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】 30 文字以下のシンボル名／オブジェクト名を指定してください。 【RI78V4 V2.xx.xx】 4095 文字以下のシンボル名／オブジェクト名を指定してください。
E1136011	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 Symbol (xxx) is already used.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 シンボル名 xxx が多重定義されています。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 使用されていないシンボル名を指定してください。
E1136012	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 Address (xxx) is out of range.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 アドレスに範囲外の値 xxx を指定しています。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 アドレスの値を 0x0 ~ 0xffff の範囲内の値に設定してください。
E1136013	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 Illegal value (xxx).
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 不正な値 xxx を指定しています。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 指定可能な数値の範囲を確認してください。
E1136250	[メッセージ]	【RI850MP】 指定されたドメイン名 (xxx) が定義されていません。
E1136251	[メッセージ]	【RI850MP】 PE (xxx) に DOMAIN が定義されていません。
E1136252	[メッセージ]	【RI850MP】 PE (xxx) の利用に必要な SYS_STK が定義されていません。

E1136300	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Task priority (xxx) is higher than max priority (yyy).
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定したタスクの優先度数を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 タスク優先度数 (xxx) は最大優先度数 (yyy) より大きい値です。
	[対処方法]	【RI850MP】 指定したタスクの優先度数を確認してください。
E1136301	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 Task priority (xxx) is higher than the highest system priority 15.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 タスクの初期優先度にシステムの最大値 15 より大きい値 xxx を指定しています。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 タスクの初期優先度の値を 1 ~ 15 の範囲内の値に設定してください。
	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Task priority (xxx) is higher than the highest system priority (yyy).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 タスクの初期優先度にシステムの最大値 yyy より大きい値 xxx を指定しています。
	[メッセージ]	【RI850MP】 タスク優先度数 (xxx) はシステムの最大優先度数 (yyy) より大きい値です。
E1136302	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 Task priority (xxx) is lower than the lowest system priority 1.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 タスクの初期優先度にシステムの最小値 1 より小さい値 xxx を指定しています。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】 タスクの初期優先度 xxx の値を 1 ~ 15 の範囲内の値に設定してください。
	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Task priority (xxx) is lower than the lowest system priority (yyy).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 タスクの初期優先度にシステムの最小値 yyy より小さい値 xxx を指定しています。
	[メッセージ]	【RI850MP】 タスク優先度数 (xxx) はシステムの最小優先度数 (yyy) より小さな値です。
E1136401	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Initial semaphore number (xxx) is bigger than maximum semaphore number (yyy).
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定したセマフォの初期資源数を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 セマフォの初期資源数 (xxx) がセマフォの最大資源数 (yyy) を超えています。
	[対処方法]	【RI850MP】 指定したセマフォの初期資源数を確認してください。

E1137101	[メッセージ]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Interrupt source name (xxx) cannot be used when not defined in the device file (not set -cpu option).
	[対処方法]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 デバイス・ファイルの指定、または例外要因指定を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 デバイス・ファイルを指定しない場合は例外要因名指定 (xxx) はできません。
	[対処方法]	【RI850MP】 デバイス・ファイルの指定、または例外要因指定を確認してください。
E1137103	[メッセージ]	【RI850MP】 同じ PE 内で同じ例外要因を持つハンドラは定義できません。
E1137104	[メッセージ]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Handlers that have same exception code (xxx) in the system cannot be defined.
	[説明]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 システム内で同じ例外要因 (xxx) を持つハンドラは定義できません。
	[対処方法]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定されている例外要因を確認してください。
E1137105	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 SVC Handlers that have same function code (xxx) in the system cannot be defined.
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 システム内で同じ機能コード (xxx) を持つ SVC ハンドラは定義できません。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定されている機能コードを確認してください。
E1137106	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Number of interrupt handler (xxx) is bigger than the number of interrupt factor (xxx).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 割り込みハンドラ数が割り込み要因数を超えています。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定されている機能コードを確認してください。
E1137107	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Exception code that is out of range is already defined.
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 範囲外の例外コードが定義されています。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定されている機能コードを確認してください。
E1150000	[メッセージ]	ファイル xxx が存在しません。
	[対処方法]	正しいファイル名を指定してください。
E1150001	[メッセージ]	トレース・データの読み込みに失敗しました。ファイルの形式が無効です。
	[説明]	指定されたファイルの形式が不正、またはファイルが壊れている場合に表示されます。
	[対処方法]	正しい形式の解析結果ファイルを指定して読み込み直してください。

E1151000	[メッセージ]	ハードウェア・トレース・モードで動作できません。デバッグ・ツールにトレース機能があるか確認してください
	[対処方法]	デバッグ・ツールにトレース機能が実装されているか確認してください。
E1151001	[メッセージ]	タスク・アナライザのトレースをONにできません。ポイント・トレースが上限に達しています。
	[対処方法]	デバッグ・ツールのイベント設定で、ポイント・トレースを無効、または削除してください。
E1151100	[メッセージ]	ジャンプ先が見つかりません。
	[説明]	シンボル情報が付与されていません。
	[対処方法]	シンボル情報の付与されているロード・モジュールで行ってください。
E1152000	[メッセージ]	入力値が不正です。
	[説明]	入力された値に不正な文字が含まれています。
	[対処方法]	入力できる文字を指定してください。
E1152001	[メッセージ]	入力値が範囲外です。
	[説明]	入力された値は入力できる値の範囲を越えています。
	[対処方法]	入力できる値の範囲を確認してください。
O1001 (E)	[メッセージ]	Syntax error.
	[説明]	文法が正しくありません。
	[対処方法]	文法を確認してください。
O1002 (E)	[メッセージ]	Illegal xxx --> <yyy>
	[説明]	yyyの数値、またはID番号が間違っています。
	[対処方法]	xxxに指定したyyyが不正なので、見直してください。
O1003 (E)	[メッセージ]	Unknown token --> <xxx>
	[説明]	xxxは定義名として認識できません。
	[対処方法]	xxxを正しい定義名に修正してください。
	[メッセージ]	Unknown xxx --> <yyy>
	[説明]	xxxに指定した文字列yyyはキーワードとして認識できません。
	[対処方法]	yyyを正しいキーワードに修正してください。
O1004 (E)	[メッセージ]	xxx's ID number is too large. --> <yyy>
	[説明]	xxx[]に指定したID番号yyyが大きすぎます。
	[対処方法]	ID番号は、当該オブジェクトの定義数以下としてください。
O1005 (E)	[メッセージ]	Task [xxx]'s priority is too large. --> <yyy>
	[説明]	task [xxx].priorityの設定値yyyが、system.priorityを超えています。
	[対処方法]	task [].priorityには、system.priority以下の値を指定してください。
O1006 (E)	[メッセージ]	clock.IPL is too large. --> <xxx>
	[説明]	clock.IPLの設定値xxxが、system.system_IPLの設定値を超えています。
	[対処方法]	clock.IPLには、system.system_IPL以下の値を指定してください。

O1007 (E)	[メッセージ]	System timer's vector <xxx> conflict
	[説明]	clock.timer に CMT0, CMT1, CMT2, CMT3 のいずれかを指定した場合で、そのタイマのベクタ番号 xxx に対して interrupt_vector [xxx] が定義されています。
	[対処方法]	該当する interrupt_vector [] を削除するか、または clock.timer の設定を変更してください。
O1009 (E)	[メッセージ]	<xxx> is already defined.
	[説明]	xxx が多重定義されています。
	[対処方法]	xxx の定義を一つにしてください。
O1010 (E)	[メッセージ]	xxx [yyy] is already defined.
	[説明]	ID 番号が yyy のオブジェクト xxx が多重定義されています。
	[対処方法]	ID 番号が重複しないようにしてください。
O1013 (E)	[メッセージ]	Zero divide error
	[説明]	演算式でゼロ除算が発生しました。
	[対処方法]	ゼロ除算を行わないようにしてください。
O1015 (E)	[メッセージ]	Can't specify F switch when os_int=YES.
	[説明]	カーネル管理割り込みハンドラ (os_int=YES) に対して、高速割り込み (pragma_switch=F) を指定することはできません。
	[対処方法]	カーネル管理割り込みの場合は、高速割り込み (pragma_switch=F) を指定しないでください。 高速割り込みの場合は、カーネル管理外割り込み (os_int=NO) としてください。
O1016 (E)	[メッセージ]	interrupt_vector [xxx].os_int must be YES.
	[説明]	カーネル割り込みマスケベル (system.system_IPL) が 15 の場合、可変ベクタをカーネル管理外割り込み (os_int=NO) として使用することはできません。
	[対処方法]	すべての可変ベクタ定義 (interrupt_vector []) で、os_int=YES としてください。
O1018 (E)	[メッセージ]	mailbox [xxx].max_pri (yyy) is bigger than system.message_pri (zzz).
	[説明]	mailbox [xxx].max_pri の設定値 yyy が、system.message_pri の設定値 zzz を超えています。
	[対処方法]	mailbox [].max_pri には、system.message_pri 以下の値を指定してください。
O1019 (E)	[メッセージ]	Neither system.tic_num nor system.tic_deno is 1.
	[説明]	system.tic_num と system.tic_deno の少なくとも一方は 1 でなければなりません。
	[対処方法]	system.tic_num と tic_deno の少なくとも一方を 1 にしてください。
O1020 (E)	[メッセージ]	Symbols other than NO and NO are defined simultaneously.
	[説明]	NO と NO 以外のシンボルを同時に指定することはできません。
	[対処方法]	NO と NO 以外のシンボルを同時に指定しないでください。
O1022 (E)	[メッセージ]	semaphore [xxx].initial_count is bigger than semaphore [xxx].max_count
	[説明]	semaphore [xxx] において、initial_count の設定値が max_count の設定値を超えています。
	[対処方法]	initial_count を max_count 以下にしてください。

O1023 (E)	[メッセージ]	Size of memorypool [xxx] is larger than VTMAX_AREASIZE
	[説明]	固定長メモリ・プールのサイズ (memorypool.num_block * memorypool.siz_block) は、VTMAX_AREASIZE (256MB) 以下でなければなりません。
	[対処方法]	memorypool [xxx].siz_block * meorypool [xxx].num_block が 256MB 以下となるようにしてください。
O1024 (E)	[メッセージ]	variable_memorypool [xxx].max_memsize is larger than 192MB - 12
	[説明]	variable_memorypool.max_memsize は、192MB - 12 以下でなければなりません。
	[対処方法]	varilable_memorypool [xxx].max_memsize は、192MB - 12 以下の値にしてください。
O1025 (E)	[メッセージ]	mutex [xxx].ceilpri is bigger than system.priority.
	[説明]	mutex [xxx].ceilpri が、system.priority を超えています。
	[対処方法]	mutex [].ceilpri には、system.priority 以下の値を指定してください。
O1026 (E)	[メッセージ]	xxx is not a multiple of y.
	[説明]	xxx は y の倍数でなければなりません。
	[対処方法]	xxx の設定値を y の倍数にしてください。
O1027 (E)	[メッセージ]	max_msgs (xxx) is larger than mbf_size (yyy) - 4.
	[説明]	message_buffer [].max_msgs の設定値 xxx が、message_buffer [].mbf_size - 4 の設定値 yyy - 4 を超えています。
	[対処方法]	message_buffer [].max_msgs には、message_buffer [].mbf_size - 4 以下の値を指定してください。
O1028 (E)	[メッセージ]	variable_memorypool [xxx].max_memsize (yyy) is too large. (Max.=zzz)
	[説明]	variable_memorypool [xxx].max_memsize の設定値 yyy が大きすぎます。指定されたプール・サイズ (variable_memorypool [].heap_size) に対して指定できる最大値は zzz です。
	[対処方法]	max_memsize の設定値を zzz 以下にしてください。
O1029 (E)	[メッセージ]	Time tick is too long.
	[説明]	system.tic_nume、system.tic_deno で定まる基本クロック周期時間が長すぎます。
	[対処方法]	基本クロック周期時間を短くするか、または clock.timer_clock を低くしてください。
O1030 (E)	[メッセージ]	Time tick is too short.
	[説明]	system.tic_nume、system.tic_deno で定まる基本クロック周期時間が短すぎます。
	[対処方法]	基本クロック周期時間を長くするか、または clock.timer_clock を高くしてください。
O1032 (E)	[メッセージ]	cyclic_handler.phs_counter is larger than interval_counter.
	[対処方法]	cyclic_hand.phs_counter 設定値は、intervalcounter 設定値以下としてください。
O1033 (E)	[メッセージ]	start_address must be smaller than end_address.
	[対処方法]	memory_object.start_address と end_address に数値を指定した場合、start_address < end_address となるようにしてください。
O1034 (E)	[メッセージ]	ACC and NOACC can't be specified at the same time.
	[説明]	ACC と NOACC スイッチは同時に指定できません。
	[対処方法]	ACC と NOACC を同時に指定しないでください。

O1035 (E)	[メッセージ]	task [xxx].domain_num (=yyy) is bigger than maxdefine.max_domain (=zzz).
	[説明]	task [xxx].domain_num の設定値 yyy は、maxdefine.max_domain の設定値 zzz を越えています。
	[対処方法]	task [xxx].domain を zzz 以下にしてください。
O2001 (E)	[メッセージ]	Not enough memory.
	[説明]	cfg600、または cfg600px を実行するためのメモリが足りません。
	[対処方法]	特約店、または当社までご連絡ください。
O2003 (E)	[メッセージ]	Illegal argument --> <xxx>
	[説明]	起動形式に誤りがあるため、xxx を認識できません。
	[対処方法]	起動形式を確認してください。
O2004 (E)	[メッセージ]	Can't write open <xxx>
	[説明]	ファイル xxx を作成できません。
	[対処方法]	cfg600、または cfg600px の出力フォルダ、および出力ファイルの読み取り専用属性を確認してください。
O2005 (E)	[メッセージ]	Can't open <xxx>
	[説明]	環境変数 "LIB600" の示すフォルダの下のファイル xxx にアクセスできません。
	[対処方法]	環境変数 "LIB600" の設定、および LIB600 が指すフォルダが正しいかを確認してください。
O2006 (E)	[メッセージ]	Can't open version file.
	[説明]	カレント・フォルダ、または環境変数 "LIB600" の示すフォルダの下に、ファイル "version" がありません。
	[対処方法]	環境変数 "LIB600" の設定、および LIB600 が指すフォルダが正しいかを確認してください。
O2007 (E)	[メッセージ]	Can't open default configuration file.
	[説明]	カレント・フォルダ、または環境変数 "LIB600" の示すフォルダの下に、ファイル "default.cfg" がありません。
	[対処方法]	環境変数 "LIB600" の設定、および LIB600 が指すフォルダが正しいかを確認してください。
O2008 (E)	[メッセージ]	Can't open configuration file <xxx>
	[説明]	指定されたシステム・コンフィギュレーション・ファイル "xxx" にアクセスできません。
	[対処方法]	システム・コンフィギュレーション・ファイルの指定を確認してください。

O2009 (E)	[メッセージ]	xxx is not defined
	[説明]	(1) xxx が定義されていません。 (2) 当該 ID のオブジェクトの定義が抜けています。本エラーは、O1004 (E) と共に発生します。
	[対処方法]	(1) xxx を定義してください。 (2) O1004 (E) エラーの原因となった ID 番号を修正してください。
	[メッセージ]	You must define SYMBOL
	[対処方法]	シンボルを指定してください。
	[メッセージ]	You must define NUMBER
	[対処方法]	数値を指定してください。
O2010 (E)	[メッセージ]	Initial start task is not defined.
	[説明]	task [].initial_start に ON を指定したタスク定義が 1 つもありません。
	[対処方法]	task [].initial_start に ON を指定したタスクを 1 つ以上定義してください。
O2011 (E)	[メッセージ]	Environment variable "LIB600" not prepared.
	[説明]	環境変数 LIB600 が定義されていません。
	[対処方法]	環境変数 "LIB600" を設定してください。
O2013 (E)	[メッセージ]	memory_object is not defined.
	[説明]	メモリ・オブジェクトが 1 つも定義されていません。
	[対処方法]	メモリ・オブジェクトを 1 つ以上定義してください。

3.3 アボート・エラー

表 3—3 アボート・エラー

F1131000	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Option (CF file) is not specified.
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 オプションに入力するコンフィギュレーション・ファイルが指定されているかを確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 オプション (xxx) が指定されていません。
	[対処方法]	【RI850MP】 オプションに入力するコンフィギュレーション・ファイルが指定されているかを確認してください。
F1131001	[メッセージ]	【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Cannot open device file.
	[対処方法]	【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 デバイス・ファイルの存在を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 デバイス・ファイルをオープンできませんでした。
	[対処方法]	【RI850MP】 デバイス・ファイルの存在を確認してください。
F1131003	[メッセージ]	【RI850MP】 ファイル名 (xxx) が重複しています。
F1131008	[メッセージ]	【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Option (xxx) needs parameters.
	[対処方法]	【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 オプションを確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 オプション (xxx) にはパラメータが必要です。
	[対処方法]	【RI850MP】 オプションを確認してください。
F1131009	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Parameter (xxx) is illegal.
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 パラメータを確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 不正なパラメータ (xxx) です。
	[対処方法]	【RI850MP】 パラメータを確認してください。

F1131010	[メッセージ]	【RI850V4 V2.xx.xx】 Option (xxx) is illegal.
	[対処方法]	【RI850V4 V2.xx.xx】 オプションを確認してください。
F1131011	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Illegal format is in command file.
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 コマンド・ファイルの内容を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 コマンド・ファイルの記述が不正です。
	[対処方法]	【RI850MP】 コマンド・ファイルの内容を確認してください。
F1131014	[メッセージ]	【RI850MP】 パスまたはファイル名 (xxx) が長すぎます。
F1131015	[メッセージ]	【RI850MP】 ファイル (xxx) はコンバート対象のシステム・コンフィギュレーション・ファイルではありません。
F1131016	[メッセージ]	【RI850MP】 指定したデバイス (xxx) はサポートされていません。
F1131017	[メッセージ]	【RI850MP】 コマンド・ファイル (xxx) のサイズが大きすぎます。
F1131020	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Cannot open command file.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 指定したコマンド・ファイルをオープンできませんでした。または、指定したコマンド・ファイル名に誤りがあります。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 指定したコマンド・ファイルが存在するか、コマンド・ファイル名に誤りがないか確認してください。
F1131021	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 Usage: CF78V4 [@command file] [-i <SIT file> -ni] [-dc <C header file> -ndc] [-da <ASM header file> -nda] [-V] [-help] <CF file> 【RI78V4 V2.xx.xx】 Usage: CF78V4 [@command file] [-cpu <Name>] [-devpath=<Path>] [-i <SIT file> -ni] [-dc <C header file> -ndc] [-da <ASM header file> -nda] [-V] [-help] <CF file>
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 起動オプション指定に誤りがあるため、CF78V4 を実行することができませんでした。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 起動オプションを確認してください。

F1131502	[メッセージ]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Option (xxx) is multiple defined.
	[対処方法]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 コマンド・ファイルの内容を確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 オプション (xxx) が複数指定されています。
	[対処方法]	【RI850MP】 コマンド・ファイルの内容を確認してください。
F1131505	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Output file names are the same (xxx).
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 出力ファイル（システム情報テーブル・ファイル、システム情報ヘッダ・ファイル（C言語用）、またはシステム情報ヘッダ・ファイル（アセンブリ言語用））に同じファイル名 xxx が指定されています。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 -i, -dc, -da オプションで指定したファイル名がそれぞれ同一になっていないか確認してください。
F1131506	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 It is necessary to specify the device file in the case of outputting entry file.
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 ENTRY ファイルを出力する場合はデバイス・ファイルを指定する必要があります。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 エントリ・ファイルの出力オプション、またはデバイス・ファイルの指定を確認してください。
F1133011	[メッセージ]	【RI850MP】 ファイル (xxx) をコンバートできませんでした。
F1133020	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Syntax too complicated.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 文が複雑すぎます。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 システム・コンフィギュレーション・ファイルの記述を確認してください。
F1139002	[メッセージ]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Unknown device file format.
	[対処方法]	【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 デバイス・ファイルを確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 指定したデバイス・ファイルのフォーマット形式はサポートされていません。
	[対処方法]	【RI850MP】 デバイス・ファイルを確認してください。

F1139011	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 File read error (xxx).
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 ファイル (xxx) を読み込みできません。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 指定したファイルが存在するかを確認してください。または、ファイル名に誤りがないか、指定したファイル名の文字数が適切かを確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 ファイル (xxx) を読み込みできません。
	[対処方法]	【RI850MP】 指定したファイルが存在するかを確認してください。または、ファイル名に誤りがないか、指定したファイル名の文字数が適切かを確認してください。
F1139013	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 File write error (xxx).
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 ファイル (xxx) がオープンできませんでした。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 ファイルが書き込み禁止になっていないか、ディスクがいっぱいになっていないかを確認してください。または、指定した出力ファイル名の文字数や、絶対パスに変換した場合の出力ファイル名の文字数が適切かを確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 ファイル (xxx) へ書き込みできません。
	[対処方法]	【RI850MP】 ファイルが書き込み禁止になっていないか、ディスクがいっぱいになっていないかを確認してください。または、指定した出力ファイル名の文字数や、絶対パスに変換した場合の出力ファイル名の文字数が適切かを確認してください。
F1139015	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Cannot execute C-preprocessor.
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 プリプロセッサを実行できませんでした。
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 プリプロセッサのパス、オプションを確認してください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 プリプロセッサ (xxx) の実行に失敗しました。
	[対処方法]	【RI850MP】 プリプロセッサのパス、オプションを確認してください。
F1139016	[メッセージ]	【RI850MP】 エラーの数が多すぎます。
F1139017	[メッセージ]	【RI850MP】 ファイル (xxx) がすでに存在しています。

F1139020	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Not enough memory.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 メモリ容量が不足しています。
	[対処方法]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 起動オプション/コマンド・ファイル解析に必要なメモリ領域、およびシステム・コン フィギュレーション・ファイル解析に必要なメモリ容量が不足しています。使用していな い他のアプリケーションを終了するなどして、CF78V4 が使用できるメモリ容量を増やし てください。
F1139100	[メッセージ]	【RI850V4 V2.xx.xx】 PEID(xxx) is not defined in the device file.
	[説明]	【RI850V4 V2.xx.xx】 指定された PEID(xxx) はデバイス・ファイルに定義されていません。
	[対処方法]	【RI850V4 V2.xx.xx】 オプション -peid に指定した PE 番号を確認してください。
F1139101	[メッセージ]	【RI850V4 V2.xx.xx】 Cannot read xxx in the device file.
	[説明]	【RI850V4 V2.xx.xx】 指定されたデバイス・ファイルから情報「xxx」を読み込めません。
	[対処方法]	【RI850V4 V2.xx.xx】 デバイス・ファイルを最新版に更新するか、指定オプションを見直してください。
F1139900	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 CF850V4 internal error (xxx).
	[対処方法]	【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 特約店、または当社までご連絡ください。
	[メッセージ]	【RI850MP】 CF850MP 内部エラー (xxx) が発生しました。
	[対処方法]	【RI850MP】 特約店、または当社までご連絡ください。

3.4 インフォメーション

表 3—4 インフォメーション

M1120010	[メッセージ]	変更前の出力フォルダのパスがビルド・ツールのインクルード・パスに設定されています。変更前の出力フォルダをビルド・ツールのインクルード・パスから削除してもよろしいですか？
----------	---------	--

3.5 ワーニング

表 3—5 ワーニング

O3001 (W)	[メッセージ]	xxx is already defined.
	[説明]	xxxが多重定義されています。本定義は無視されます。
	[対処方法]	多重定義を解消してください。
O3002 (W)	[メッセージ]	The maximum ID of the object is larger than maxdefine.xxx
	[説明]	maxdefine.xxxの値より定義されたオブジェクトの最大ID値が大きいです。定義されたオブジェクトの最大IDの値が選択されます。
O4001 (W)	[メッセージ]	xxx is not defined
	[説明]	xxxの定義が省略されたため、デフォルト・システム・コンフィギュレーション・ファイルの設定を適用しました。
	[対処方法]	デフォルト・システム・コンフィギュレーション・ファイルの設定内容は、「RI600V4/RI600PX リアルタイム・オペレーティング・システム ユーザーズマニュアル コーディング編」に記載されているので、確認してください。
O4005 (W)	[メッセージ]	Timer counter value is less than your setting time.
	[説明]	指定された基本クロック割り込み周期時間 (system.tic_num / system.tic_deno [ms]) を誤差なく実現することができません。実際の基本クロック割り込み周期時間は、指定された周期よりも短くなります。
	[対処方法]	基本クロック割り込み周期時間を長くすることを検討してください。
W1110010	[メッセージ]	デバグが動作中です。
	[説明]	デバグが動作中に操作しました。
	[対処方法]	デバグを停止してから操作してください。
W1110020	[メッセージ]	RTOS が初期化されていません。
	[説明]	リアルタイム OS の初期化前に操作しました。
	[対処方法]	[RTOS 情報取得可能位置まで実行] ボタンを押してリアルタイム OS の初期化を終了させてください。
W1120010	[メッセージ]	パス名またはファイル名が不正です。パス名またはファイル名として使用できる文字を入力してください。
	[説明]	パス名、またはファイル名に指定できない文字を使用しています。
	[対処方法]	使用できる文字を使用してください。
W1120011	[メッセージ]	259 文字を超える文字数を指定することができません。
	[説明]	指定した文字数が 259 文字を超えています。
	[対処方法]	文字数を減らしてください。
W1120012	[メッセージ]	247 文字を超える文字数を指定することができません。
	[説明]	指定した文字数が 247 文字を超えています。
	[対処方法]	文字数を減らしてください。
W1120020	[メッセージ]	システム情報テーブル・ファイル名とエントリ・ファイル名が同じです。
	[対処方法]	違うファイル名に変更してください。

W1120021	[メッセージ]	システム情報テーブル・ファイル名とサービス・コール・テーブル・ファイル名が同じです。
	[対処方法]	違うファイル名に変更してください。
W1120030	[メッセージ]	指定されたパスは存在しません。
	[対処方法]	存在するパス名に変更してください。
W1120031	[メッセージ]	指定されたパスは書き込み禁止です。
	[説明]	指定されたパスが書き込み禁止属性です。
	[対処方法]	指定されたパスの属性を書き込み許可に変更してください。
W1120032	[メッセージ]	指定されたファイルは存在しません。
	[対処方法]	存在するファイル名に変更してください。
W1122000	[メッセージ]	入力値が不正です。
	[説明]	入力された値に不正な文字が含まれています。
	[対処方法]	入力できる文字を指定してください。
W1122001	[メッセージ]	入力値が範囲外です。
	[説明]	入力された値は入力できる値の範囲を越えています。
	[対処方法]	入力できる値の範囲を確認してください。
W1131013	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 Command file is nested. @Option in the command file is ignored.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】【RI78V4 V2.xx.xx】【RI850V4 V1.xx.xx】【RI850V4 V2.xx.xx】 コマンド・ファイルがネストしています。コマンド・ファイル内の @ オプションを無視しました。 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
	[メッセージ]	【RI850MP】 コマンド・ファイルがネストしています。コマンド・ファイル内の @ オプションを無視しました。
	[説明]	【RI850MP】 コマンド・ファイルがネストしています。コマンド・ファイル内の @ オプションを無視しました。 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
W1131504	[メッセージ]	【RI850MP】 オプション (yyy) により Option (xxx) が無効になりました。
	[説明]	【RI850MP】 オプション yyy の指定にともない、オプション xxx の指定が無効となりました。
	[メッセージ]	【RI850V4 V2.xx.xx】 Option (xxx) became invalid by Option (yyy).
	[説明]	【RI850V4 V2.xx.xx】 オプション yyy の指定にともない、オプション xxx の指定が無効となりました。
W1132008	[メッセージ]	【RI850MP】 CF850MP でサポートしていないキーワード (xxx) をコメントアウトしました。
W1132009	[メッセージ]	【RI850MP】 キーワード (xxx) として仮の例外要因コード (yyy) が設定されました。

W1133015	[メッセージ]	【RI850MP】 使用するサービス・コール (xxx) が二重定義されています。
W1134013	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Reserved ID (xxx) must be 0 in this version (0 assumed).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
	[メッセージ]	【RI850MP】 このバージョンでは、予約ID (xxx) は0でなければなりません (強制的に0にします)。
	[説明]	【RI850MP】 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
W1134014	[メッセージ]	【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Defined value (xxx) in the reserved area is ignored.
	[説明]	【RI78V4 V2.xx.xx】 【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
	[メッセージ]	【RI850MP】 予約領域に定義された値 (xxx) は無視します。
	[説明]	【RI850MP】 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
W1134015	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 Value is aligned to 2 bytes (result: xxx).
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 指定した値が2バイト境界値ではありません。CF78V4では2バイト境界値 xxxに切り上げて処理を続行します。 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Value is aligned to 4 bytes (result: xxx).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 4バイト・アラインしました (その結果は xxx です)。 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
	[メッセージ]	【RI850MP】 yyyバイト・アラインしました (その結果は xxx です)。
	[説明]	【RI850MP】 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
W1134016	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Value (xxx) is assumed to be a set value.
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 値 (xxx) を設定値とします。 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。

W1136003	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Maximum number to make object must be a number of defined object or maximum number of ID (xxx assumed).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
	[メッセージ]	【RI850MP】 生成可能な最大値は、定義数または ID の数値の最大値になります（強制的に xxx にします）。
	[説明]	【RI850MP】 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
W1136005	[メッセージ]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 The maximum priority level "xxx" is defined. But set the maximum priority level to "yyy" because the task with initial priority "yyy" is defined.
	[説明]	【RI78V4 V1.xx.xx】 【RI78V4 V2.xx.xx】 タスクの最大優先度として xxx を定義していますが、タスクの初期優先度として yyy が指定されているため、タスクの最大優先度として yyy が指定されたものとして処理を続行します。 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
W1136010	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 CPU type is multiple defined in CF file and -cpu option (xxx assumed).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 システム・コンフィギュレーション・ファイル内と -cpu オプションで CPU タイプが二重定義されています。-cpu オプションの CPU タイプ (xxx) を有効とします。 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
W1136011	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 Register mode is multiple defined in CF file and -reg option (xxx assumed).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 システム・コンフィギュレーション・ファイル内と -reg オプションでレジスタ・モードが二重定義されています。-reg オプションのレジスタ・モード (xxx) を有効とします。 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
W1136012	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Value of "maxint" differs from the value defined in the device file (the value defined in the device file is used).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 "maxint" (MAX_INT の第 2 引数) がデバイス・ファイルで定義された値と異なっています (デバイス・ファイルで定義された値を使用します)。 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
W1136013	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Memory area (xxx) is not used, so information of (xxx) is not output.
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 このメモリ領域は使用されないため、情報は出力されません。 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。

W1137003	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Interval time of a cyclic handler was rounded up (result: xxx).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
	[メッセージ]	【RI850MP】 周期ハンドラの起動間隔を切り上げました（その結果は xxx です）。
	[説明]	【RI850MP】 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
W1137004	[メッセージ]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 Initial interval time of a cyclic handler was rounded up (result: xxx).
	[説明]	【RI850V4 V1.xx.xx】 【RI850V4 V2.xx.xx】 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
	[メッセージ]	【RI850MP】 周期ハンドラの初期起動間隔を切り上げました（その結果は xxx です）。
	[説明]	【RI850MP】 ワーニングを通知するメッセージで、異常ではありません。
W1151000	[メッセージ]	プロパティの設定がロード・モジュールに反映されていません。反映するにはビルドしてください。
	[説明]	プロパティで設定、変更後にビルドをしていないため、ロード・モジュールとプロパティ設定で矛盾が生じています。例えば、ハード・トレース用ロード・モジュールをロードしているときに、プロパティでソフト・トレース・モードに変更した場合などに表示されません。
	[対処方法]	ビルドを実行してください。

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2011.10.01	—	初版発行
1.01	2012.04.01	7, 8	RI600PX を追記
		10	内部エラー (C1110030) を追記
		21	フェイタル・エラー (O1032 (E), O1033 (E), O1035 (E)) を追記
		22	フェイタル・エラー (O2013 (E)) を追記
		27	ワーニング (O3002 (W)) を追記
1.02	2012.09.01	18, 19	フェイタル・エラー (E1150000, E1150001, E1151000, E1151001, E1151100, E1152000, E1152001) を追記
		31	ワーニング (W1151000) を追記
1.03	2014.03.03	—	RI850V4 V2.xx.xx を追記
1.04	2015.03.25	—	RI78V4 V2.xx.xx を追記
1.05	2015.09.30	34	フェイタル・エラー (F1139100, F1139101) を追記

RIシリーズ ユーザーズマニュアル
メッセージ編

発行年月日 2011年10月1日 Rev.1.00
2015年9月30日 Rev.1.05

発行 ルネサス エレクトロニクス株式会社
〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-24 (豊洲フォレシア)



ルネサス エレクトロニクス株式会社

営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

営業お問合せ窓口の住所は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス株式会社 〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-24 (豊洲フォレシア)

技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。
総合お問合せ窓口：<http://japan.renesas.com/contact/>

RIシリーズ